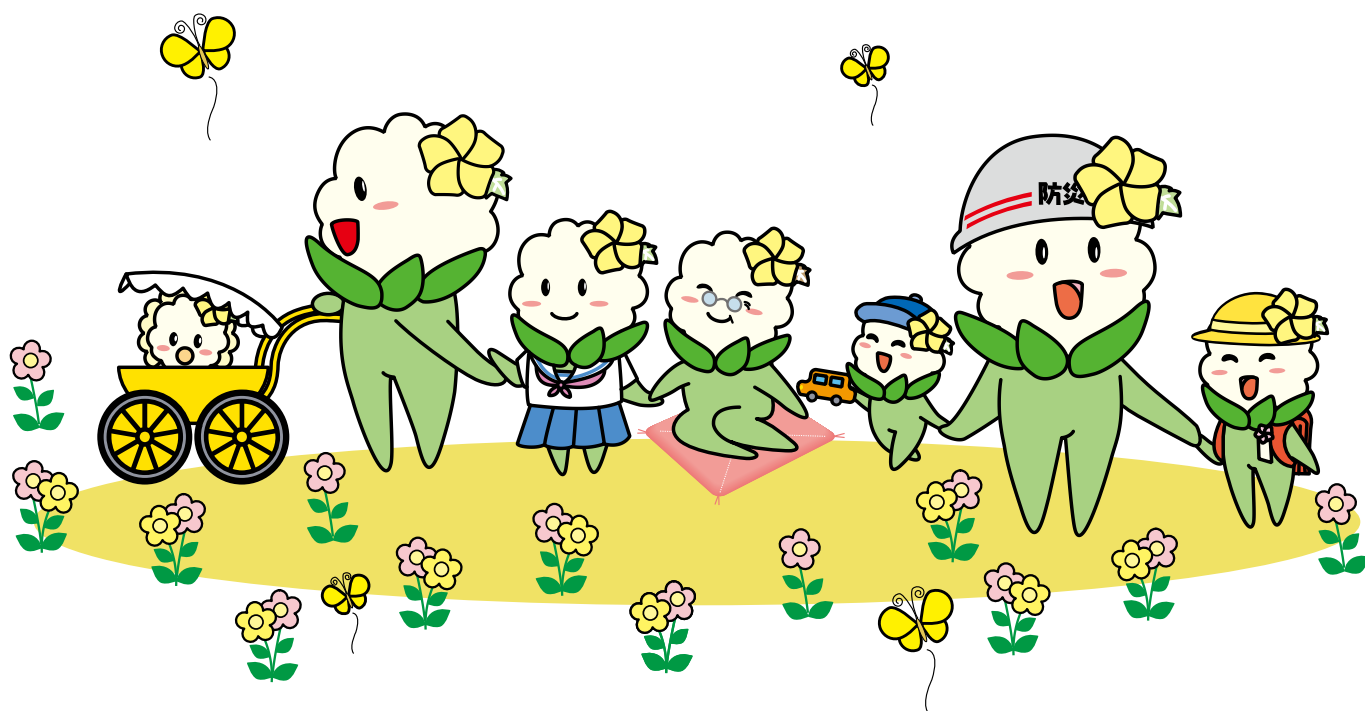


ひらの区民モニター アンケート結果

令和 2 年度



平野区役所

【アンケートの概要】

○目的

平野区では、区民のみなさんから区の事業などについてのご意見をうかがい、それを区政へ反映するために、ひらの区民モニター（アンケート調査）を実施しています。実施方法としては、区内在住の18歳以上の方を対象として、住民基本台帳データから無作為に抽出した方々に、アンケートを送付させていただきました。

○実施状況

実施期間：令和2年11月19日～同年12月15日

調査対象：住民基本台帳より無作為に抽出した18歳～90歳までの区民 3,000名

調査方法：郵送

回答方法：郵送又はオンライン

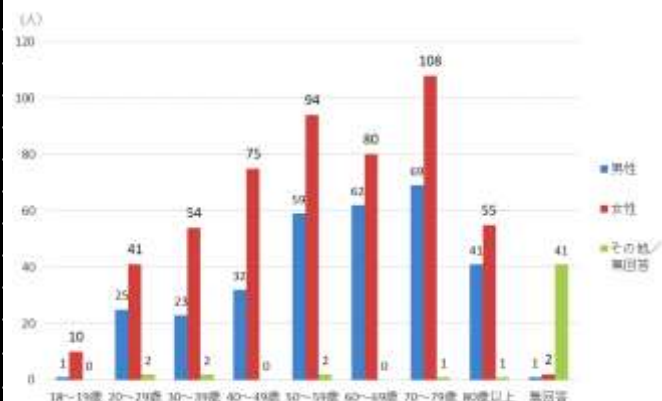
回答者数：

	区民モニター	郵送	オンライン
回答者数	881名	677	204
回答率	29.4%		

○回答者内訳

【年齢・性別】

		男性	女性	その他／ 無回答	合計(人)
年代	18～19歳	1	10	0	11
	20～29歳	25	41	2	68
	30～39歳	23	54	2	79
	40～49歳	32	75	0	107
	50～59歳	59	94	2	155
	60～69歳	62	80	0	142
	70～79歳	69	108	1	178
	80歳以上	41	55	1	97
	無回答	1	2	41	44
合計(人)		313	519	49	881
合計(%)		35.5%	58.9%	5.6%	100%



【お住まい】



【平野地域】

平野馬場・平野北・西脇・平野元町・平野上町・平野宮町
平野市町・背戸口・平野本町・平野東・平野西・流町・平野南

【喜連地域】

喜連西・喜連・喜連東

【瓜破地域】

瓜破西・瓜破・瓜破東・瓜破南

【加美地域】

加美北・加美正覚寺・加美東・加美西・加美鞍作・加美南

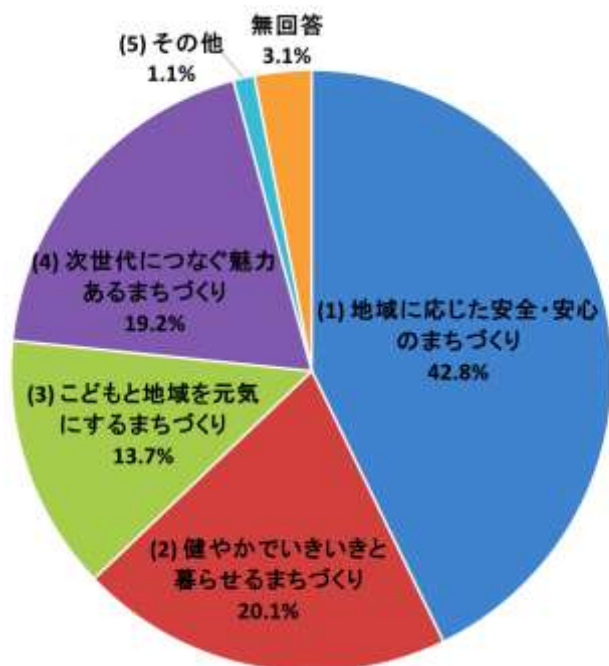
【長吉地域】

長吉出戸・長吉六反・長吉長原西・長吉長原・長吉長原東・長吉川辺

＜平野区将来ビジョン関連＞

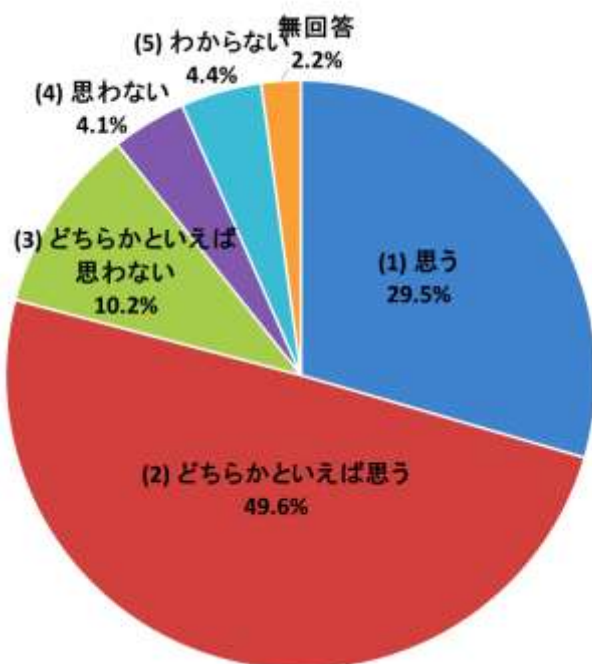
平野区では、平野区将来ビジョンを策定し、「人と人がつながり支えあうまち すべての人の笑顔が輝くまち ひらの」の実現に向け、多世代交流をキーワードに、こどもから高齢者までさまざまな人たちが交流できる機会を提供し、愛着を持って住み続けられるまち『ひらの』をめざした取組みを実施しています。

【問1】「人と人がつながり支えあうまち すべての人の笑顔が輝くまち ひらの」に向け、今後どの取組みをもっとも強化すべきだと思いますか？（1つだけ選択）



「(1)地域に応じた安全・安心のまちづくり」の42.8%が最も高く、次いで「(2)健やかでいきいきと暮らせるまちづくり」(20.1%)、「(4)次世代につなぐ魅力あるまちづくり」(19.2%)、「(3)こどもと地域を元気にするまちづくり」(13.7%)となっています。その他としては、すべての人が一緒に笑顔になるまちづくり、環境美化・衛生面が向上する取組み強化というご意見がありました。

【問2-1】あなたが住まいの平野区は暮らしやすいと思いますか？（1つだけ選択）



「思う」、「どちらかといえば思う」が、79.1%と回答し、80%に近い数値となっています。

平野区将来ビジョンに掲げる「人と人がつながり支えあうまち すべての人の笑顔が輝くまち ひらの」をめざし、今後もさまざまな施策に取り組んでまいります。

【問2-2】なぜそのように思うか理由を教えてください。

《(1)思う・(2)どちらかといえば思うと回答した理由(要旨)》

- ・ 学校や保育園等も多く、こどもたちが多い。
- ・ 都会にも出やすく、電車やバスの交通の便や、スーパーなどの商業施設・医療関係機関も多いので良いと思う。
- ・ 駅、区役所、銀行などが近い。行政サービスが行き届いている。
- ・ 生まれ育ったところなので、愛着がある。長年住み慣れたまちなので、どこに何があるのかよくわかっている。
- ・ こどもや友人が近くにいるから。
- ・ 住んでいる地域がよく、地域のつながりも豊富。何かあったら助け合いができています。
- ・ 地域での活動が活発である。地域の支えあい、区民の絆、地域福祉活動等が充実している。
- ・ 地域の伝統のお祭りなどが残っており、近所の方と交流がある。
- ・ 平地だから。坂がないので、移動しやすい。
- ・ 市内でありながら住宅地、商業地、工業地、文教地区等が比較的混在することなく区分されている。歴史ある街並み、公園、神社やお寺なども多く、季節感がある。
- ・ 商店街や平野郷などの昔からある素晴らしいものと、新しいものとが共存していて、温かさを感じるから。
- ・ 大雨による浸水や地震など、比較的災害が少ないと思う。
- ・ 老人や小さなこどもが多いから。安心安全な気がする。自転車で巡回しているおまわりさんもよく見るので、安心。
- ・ 物価が安い。野菜等が他地域と比べて、安く買えているように思う。
- ・ 平野区独自の考え方やり方、よその区との考え方やり方とは違う。
- ・ 公園、緑が多い。活気は十分あるので、もっと公園や図書館を増やしてほしい。
- ・ 高齢者にも福祉介護が手厚くされていると思う。
- ・ 住みやすいとは思いますが、小さな犯罪がちらほらあるとも思う。また、自転車のマナーが非常に悪い。
- ・ 日常生活上は便利で良いが、文化的な催事が少ない。犯罪多発が不安。
- ・ 暮らしやすいがこどもたちが外で遊んでいる姿が少なく、少しさみしい。

《(3)どちらかといえば感じない・(4)感じない・(5)わからないと回答した理由(抜粋)》

- ・ 社会的モラル、社会的マナー等、世間で言われる常識に欠けている人が多い気がする。
- ・ 地域の中で、商業施設(日々の買い物、飲食店)等、あまりなく、街が活性化していない。
- ・ バスの本数があまりにも少なく、不便。JR 駅へ通じる交通の便もない。
- ・ 都市インフラが十分でない。大きい通りは歩道が広く平坦だが、他の道になるとボコボコで道幅が狭い上に傾斜がきつくて歩きにくい。
- ・ 明るく、緑の多い公園がすくない。こどもが公園で元気に遊べないのはかわいそう。
- ・ 地域住民の連携が少ない。高齢者と若い世代のつながりは、地方都市と比べると希薄な気がする。
- ・ 人とのつながりや安心感を感じられない。ある所はグループができていて新参者はなじめない。
- ・ 安心安全と言っているが、形になってあまり見えない。平野区独自の取組みを強化して欲しいです。
- ・ 道にゴミが落ちている。町がきたない。自転車にいたずらがある。道路でこどもが遊んでいる。
- ・ タバコのポイ捨てや、鳩やカラスの糞等が路上に散らばっている。お店の看板や、自動車・自転車の歩道占有が多い。
- ・ パトロールや警備をあまり見かけない。
- ・ 他の地域より治安や貧富の差に問題があるように感じる。
- ・ 次世代にとって、魅力があるようには感じない。
- ・ 健康そうな生活保護の方が多。生活保護者が、多すぎる。
- ・ サービス対応が遅い。サービス内容が良くない。

平野区は、地域や学校とともに分権型教育行政を推進しており、児童生徒が自立した大人になれるよう幼稚園から高校まで学校園、保護者、地域の意見を聞きながら、たえず施策を進めることとし、「生きる力につながる基礎的な学力の定着」「教育と福祉の連携」「こどもたちの安全・安心」の3つの課題に重点的に取り組んでいます。

また、こどもたちの基礎学力・体力や家庭の教育力、社会性や規範意識を高め、夢と希望と誇りを持ち未来にきらめく「ひらのっ子」を育成するため、さまざまな施策を展開しています。

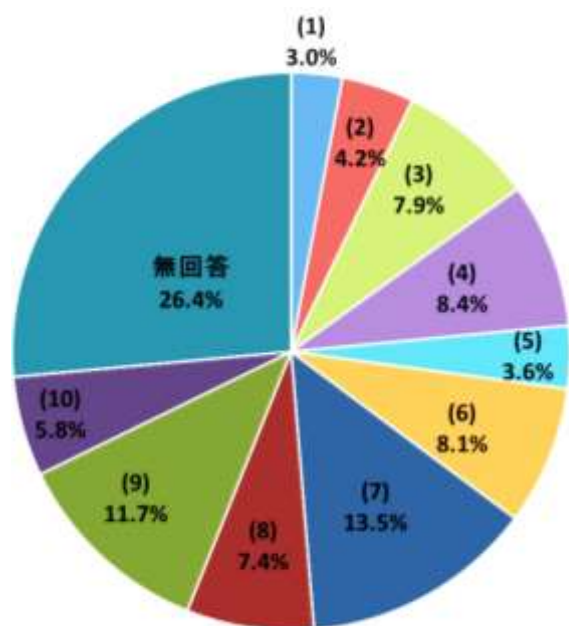
【問3-1】 平野区の実践で知っているものはどれですか？（複数選択可）



「(7) +7 こどもの安全確保や社会のルールを学ぶ機会の提供」、「(5) +5 こどもの防災教育、地域の防災訓練との連携」が120件を超えている一方で、「(11)どの取組も知らない」が492件となっており、平野区の実践がまだ十分に周知されていないことがわかります。より多くの方に平野区の実践を知っていただけるよう、広報紙やHP等を活用し、周知をしていきます。

【問3-2】 問3-1(1)～(10)の項目のうち、今後どの取組みを最も強化すべきだと思いますか。

(1つだけ選択)



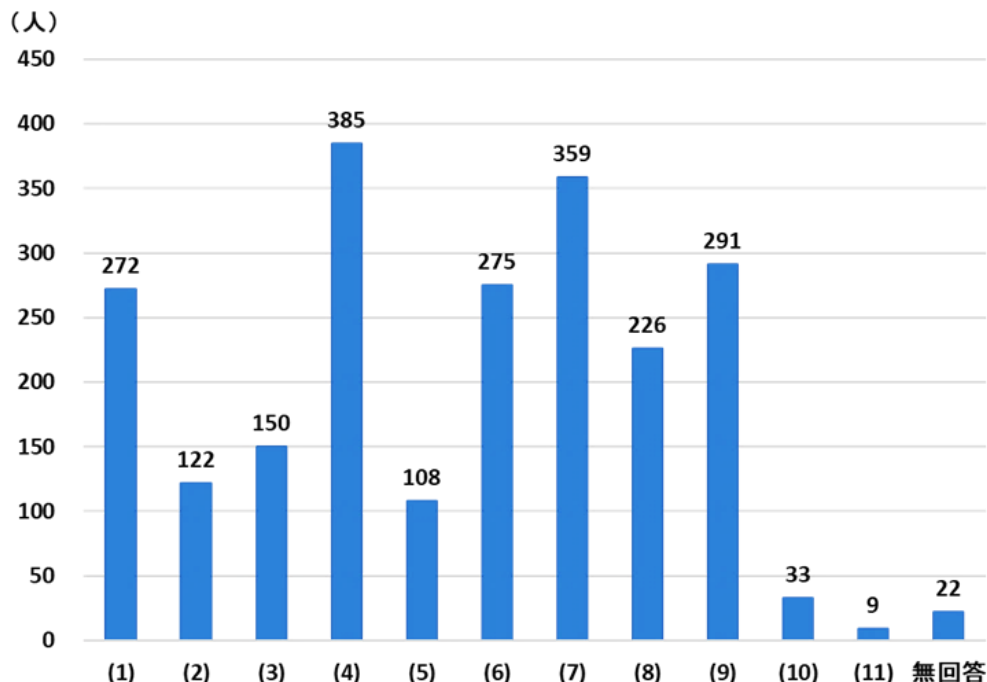
強化すべき取組みとして「(7) +7 こどもの安全確保や社会のルールを学ぶ機会の提供」が13.5%、次いで「(9) +9 「いじめ」「不登校」など学校生活が困難な状況にあるこどもへの支援」11.7%となっています。

区としては、児童虐待防止・早期発見への取組みや子育てに悩む親への支援、こどもの学習意欲の向上、こどもたちへのサポートや学校生活の定着支援などの取組を行い、こどもが元気で育ちまちづくりができるよう努めてまいります。また、無回答の方も多く、より多くの方に関心を持っていただけるよう、取組みの周知にも努めてまいります。

＜まちづくり関連＞

平野区役所では、「平野区将来ビジョン」において、平野区を次世代につなげていくため、まちの基盤づくりと歴史・文化・産業など魅力向上に取り組み、愛着を持って住み続けられる魅力あるまちづくりを進めています。

【問4】 平野区の将来にふさわしいイメージについて、どのようにお考えですか？（3 つまで選択可）



〔回答項目〕

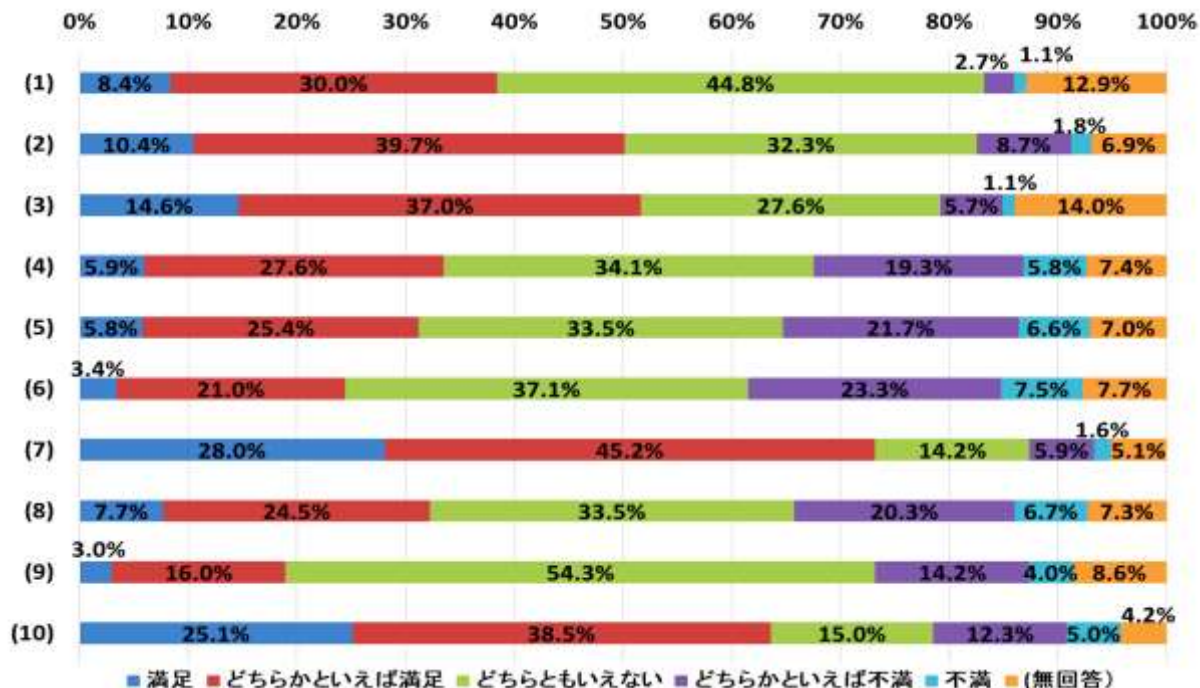
- | | |
|-------------------------------------|------------------------|
| (1) 歴史や文化を感じさせるまち | (2) 歩いて楽しめる回遊性のあるまち |
| (3) 住宅を中心とした落ち着いたまち | (4) 買い物など日常生活の利便性が高いまち |
| (5) 大規模店舗やショッピングモールがあり休日の買い物が楽しめるまち | |
| (6) 子育て・教育環境が充実したまち | (7) 高齢者が生活しやすいまち |
| (8) 公園やみどり、水辺がありゆとりと潤いを感じるまち | (9) 災害に強い、安全なまち |
| (10) 工場のあるものづくりのまち | (11) その他 |

「(4) 買い物など日常生活の利便性が高いまち」が 385 件と最も多く、次いで「(7) 高齢者が生活しやすいまち」(359 件)、「(9) 災害に強い、安全なまち」(291 件)、「(6) 子育て・教育環境が充実したまち」(275 件)、「(1) 歴史や文化を感じさせるまち」(272 件)、「(8) 公園やみどり、水辺がありゆとりと潤いを感じるまち」(226 件)となっています。その他としては、治安が良く安心して暮らせるまち等のご意見がありました。

昨年に引き続き日常生活を快適・安全に過ごすことが平野区の将来にふさわしいイメージとして考えられていることがわかります。子育てに充実した体制づくりや歴史・文化・環境等を保全することも今後取り組んでいけるよう努めてまいります。

【問5】 あなたは現在お住まいの環境にどの程度満足しておられますか？

次の項目のそれぞれについて該当するものに○をつけてください。

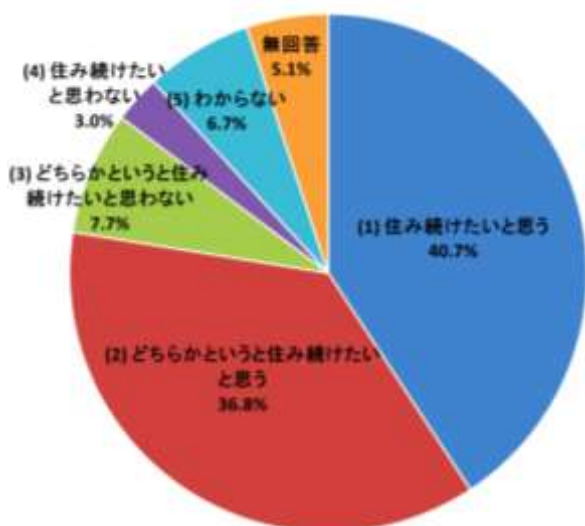


〔回答項目〕

- (1)幼稚園・保育所等の子育て施設 (2)病院への通院や介護施設等の利用 (3)職場や学校への通勤・通学
 (4)公園や広場などの憩いの場 (5)散歩やジョギング等の回遊性、歩きやすさ (6)治安・防災上の安心感
 (7)食料品や日用品など日常の買い物 (8)洋服や家電製品など上記7以外の買い物
 (9)趣味や習いごと等の活動 (10)地下鉄・バス等公共交通の利用しやすさ

現在の居住環境の満足度について、昨年に引き続き「(7) 食料品や日用品など日常の買い物」の肯定的回答率が 73.2%と高い割合であり、また、「(10) 地下鉄・バス等公共交通の利用しやすさ」、「(3) 職場や学校への通勤・通学」、「(2) 病院への通院や介護施設等の利用」についても、約半数の方が「満足」「どちらかといえば満足」との回答となっています。一方で、「(6)治安・防災上の安心感」、「(9) 趣味や習いごと等の活動」については 25%以下となっており、満足度が低くなっています。

【問6】 これからも平野区に住み続けたいと思いますか？(1つだけ選択)



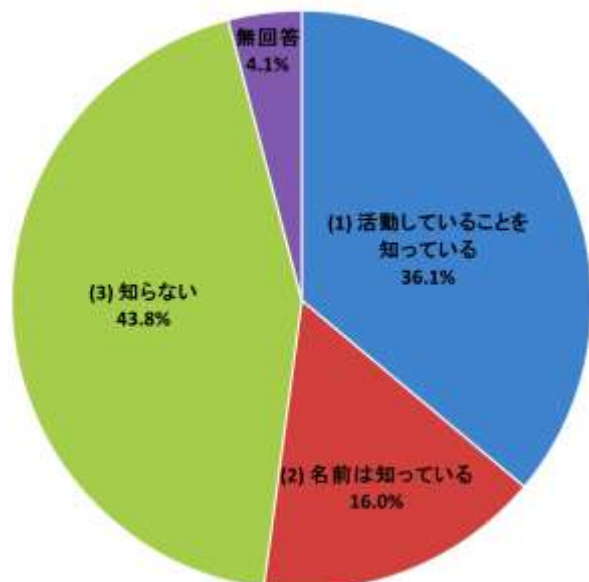
「住み続けたいと思う」、「どちらかというに住み続けたいと思う」があわせて 77.5%となり、「どちらかというに住み続けたいと思わない」、「住み続けたいと思わない」は 10.7%の割合となっています。

＜地域活動協議会関連＞

平野区内には、おおむね小学校区を範囲として、地域団体やNPO、企業など地域のまちづくりに関するさまざまな団体が集まり、話し合い、協力しながら、地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいくための仕組みである「地域活動協議会」が22地域あります。

地域活動協議会の活動例：防災訓練、青色防犯パトロール、登下校の見守り、高齢者食事サービス、ふれあい喫茶、地域のお祭り など

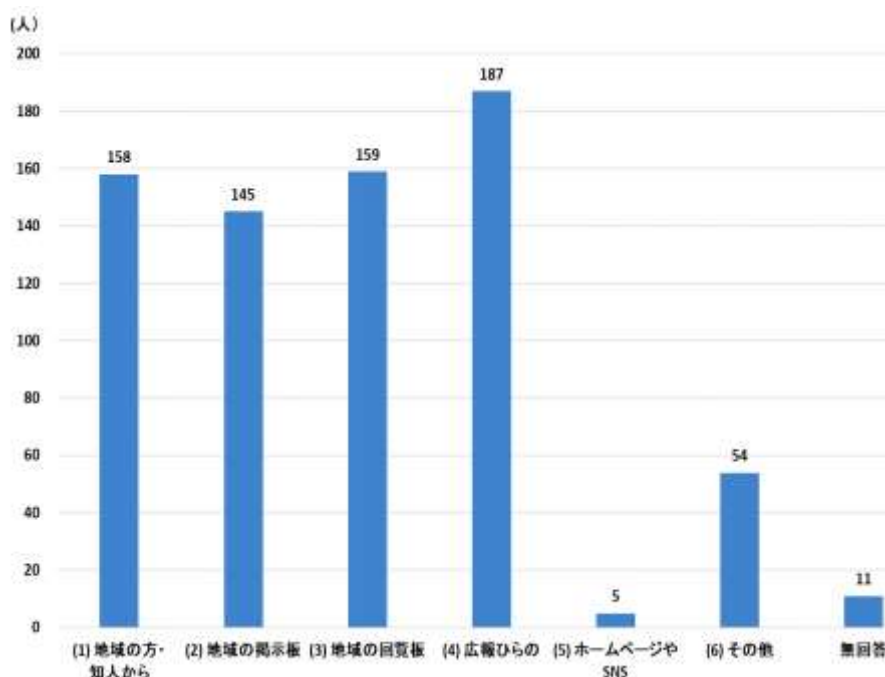
【問7-1】 この「地域活動協議会」のことを知っていますか？（1つだけ選択）



「活動していることを知っている」、「名前は知っている」をあわせて52.1%、「知らない」が43.8%となっています。

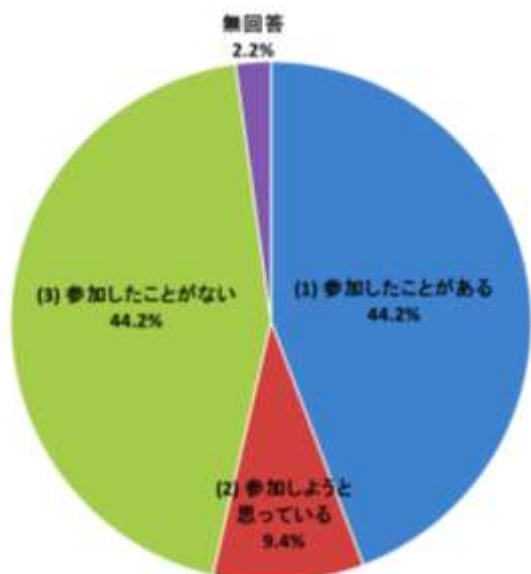
まだ認知度が低いため、活動内容も含め知っていただけるよう、周知を行ってまいります。

【問7-2】 問7-1で「(1)活動していることを知っている (2)名前は知っている」と回答した方にお聞きします。
地域活動協議会を何でお知りになりましたか？（複数選択可）



地域活動協議会を知るきっかけとして、「(4) 広報ひらの」と回答した方が187件と最も多く、次いで「(3) 地域の回覧板」が159件、「(1) 地域の方から・知人から」が158件、「(2) 地域の掲示板」が145件となっています。その他としては、自治会での活動、登下校の見守り活動、地域で見守り等の活動をしているのを見かけたというご意見がありました。

【問7-3】 問7-1で「(1)活動していることを知っている (2)名前は知っている」と回答した方にお聞きします。
地域活動協議会が主催する事業(防災訓練、防犯活動、ふれあい喫茶や食事サービスなどの地域福祉活動、地域のお祭りなど)に参加したことはありますか？(1つだけ選択)



「参加したことがある」が44.2%、「参加しようと思っている」と参加への意向がある方は9.4%となっています。

参加したことがない理由としては、コロナ禍、健康上の理由や、仕事で時間がないとのご意見が多くありましたが、地域活動協議会の認知度があがるとともに、参加の意思も高まってきている傾向にあります。

<防災関連>

平野区では、災害に強いまちづくりをめざし、区民へ向けて「自助」の意識向上に向けた取組みを進めています。地域で実施している防災訓練や学校で行う土曜授業をはじめ、区広報紙を通じてローリングストックの取組みや、区ホームページを通じて避難訓練の発令のタイミングに関わる河川の水位などを紹介しています。

- 自助** : 個人や家族を中心とする備え
(防災マップやハザードマップからの情報収集・家具転倒防災対策・食料品等の備蓄など)
- 共助** : 住民・学校・企業を中心とする備え
(地域・学校等で行われている防災訓練など)
- 公助** : 行政及び関係機関を中心とする備え

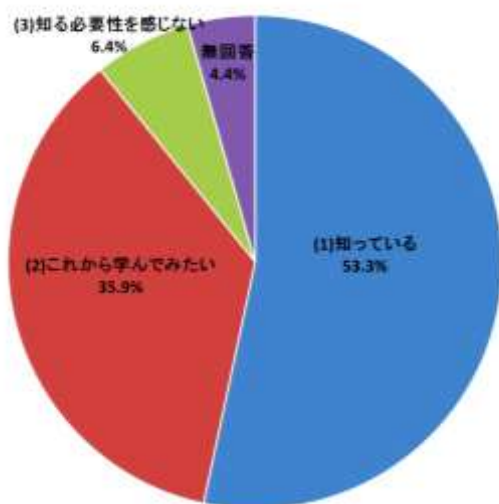
【問8-1】 あなたはこうした何らかの自助に取り組んでいますか？(1つだけ選択)



「取り組んでいる」「これから取り組む」が82%であり、「必要性を感じない」は12.6%となっています。

平成30年に起きた自然災害以降、自助に対する意識の向上がみられるように感じます。

【問8-2】 あなたはこのような自助・共助の取組みの大切さを知っていますか？（1つだけ選択）



「知っている」、「これから学んでみたい」が9割近くの 89.2%であり、「知る必要性を感じない」は 6.4%となっています。

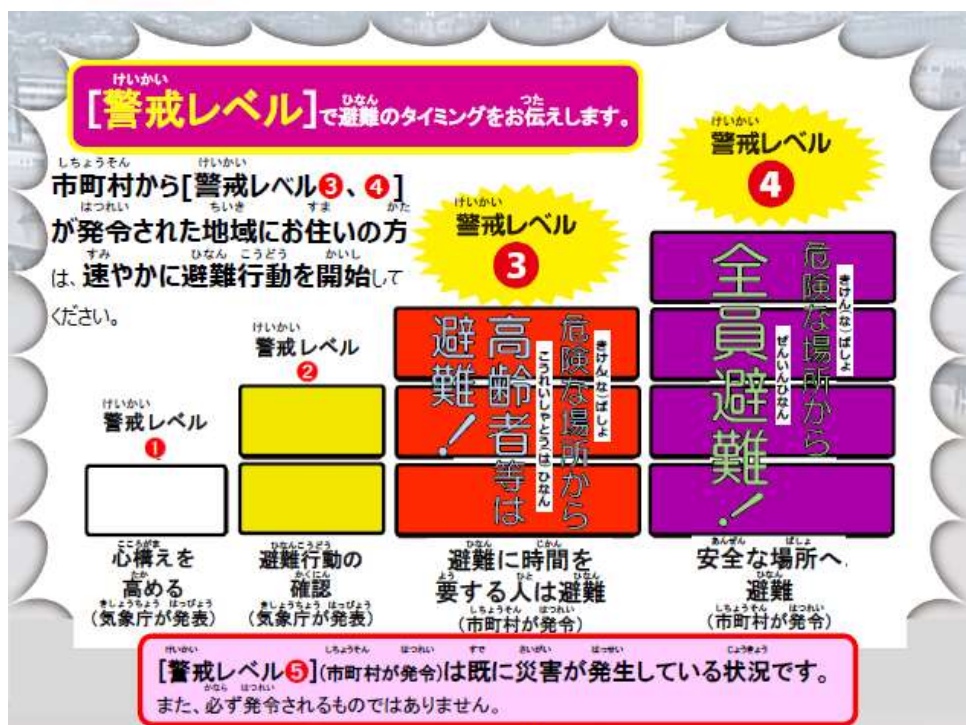
問 8-1 に見られるよう、防災意識が高まっていることから、取組みに対しても積極的であることがわかりました。

【問9】 令和元年6月より、避難情報の発信が「警戒レベル」による発信に変更されています。発令される警戒レベルの意味とその際取る行動を知っていますか？（1つだけ選択）



「(1) レベルごとの意味と行動を知っている」が 16.5%、「(2) 「避難勧告」等の表現であれば知っている」が 50.1%となっています。「(3) 言葉は聞いたことがある」、「(4) 知らない」が 30%となっています。

レベルごとの意味や行動については、まだ認知度が低いため、より周知を行ってまいります。



<防犯関連>

平野区役所では、安全安心のまちづくりを推進するため、犯罪発生件数の減少をめざし、防犯意識の啓発や地域の皆さんと協働による青色防犯パトロールなどの取組みを行っています。そうした取組みの結果、平野区の「大阪重点犯罪(抜粋)等発生件数」は、令和元年度には10年前の約3分の1である945件に激減しています。

一方で、特殊詐欺については、オレオレ詐欺だけでなく、還付金詐欺や架空料金請求詐欺など、手口が多様化しています。

【問 10-1】 平野区内の各地域における防犯活動に参加したいと感じますか？(1つだけ選択)



「参加したことがある」「時間が合えば参加したい」が57.1%となっております。その一方、「参加したくない」は38.7%となっております。

交通マナーやゴミのポイ捨て等、課題は様々あり、多くの方に役立つ、参加したいと感じられる活動を検討してまいります。

【問 10-2】 様々な犯罪が発生していますが、各地域において最も対策が必要と感じる犯罪は何ですか？

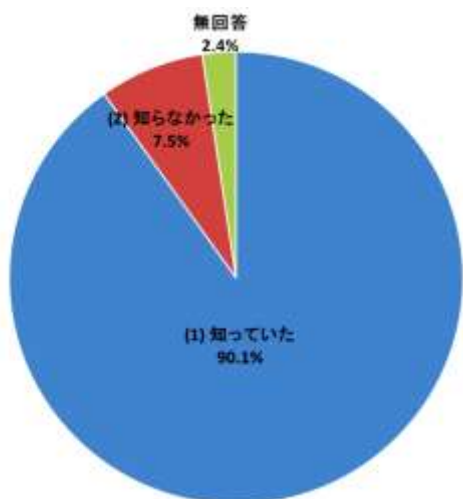
(1つだけ選択)



「(1)ひったくりや路上強盗」が半数近い49.4%となっています。次いで、「(3)特殊詐欺」が24.3%、「(2)自動車・自転車の盗難」が17.8%となっています。

その他としては、子どもや女性に対する犯罪への対策が必要等のご意見がありました。

【問 11】 自転車保険に未加入で自転車事故の加害者となった場合、高額な賠償責任を負う可能性があることを知っていますか？(1つだけ選択)



「(1)知っていた」が90.1%であり、自転車保険については、認知度が高いことがわかります。

＜地域福祉関連＞

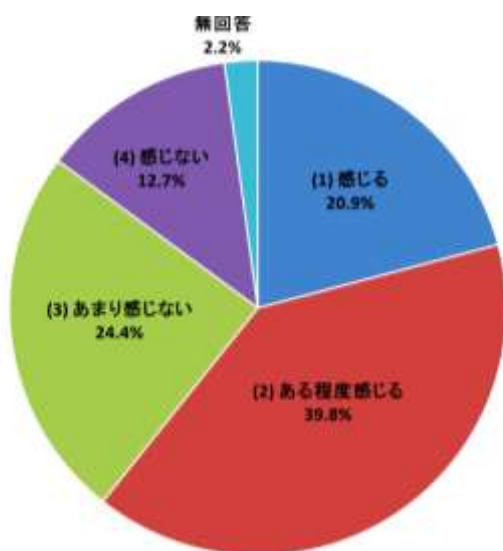
平野区役所では、「平野区地域福祉計画」を策定し、こどもから高齢者まで、すべての人と人とがつながり、支えあうまちづくりに向けて、取組みを進めています。

この計画では、皆さんがお住いの地域でお互いを尊重しつつ、支援が必要な人を地域ぐるみで支えていけるよう、地域の皆さんとともに行う取組みを通じた地域福祉の向上をめざしています。

近年、近隣の方同士や地域内でお互いに支えあうことがますます重要になってきており、ご近所でのお声がけや見守り活動、ふれあい喫茶、食事サービスなどを実施されている地域もあります。人と人とがつながり助けあい、支援が必要な人を地域で支える、これらの活動（地域福祉活動）について、お尋ねします。

【問 12-1】 あなたはお住いの地域の方と「つながっている」と感じますか？（1つだけ選択）

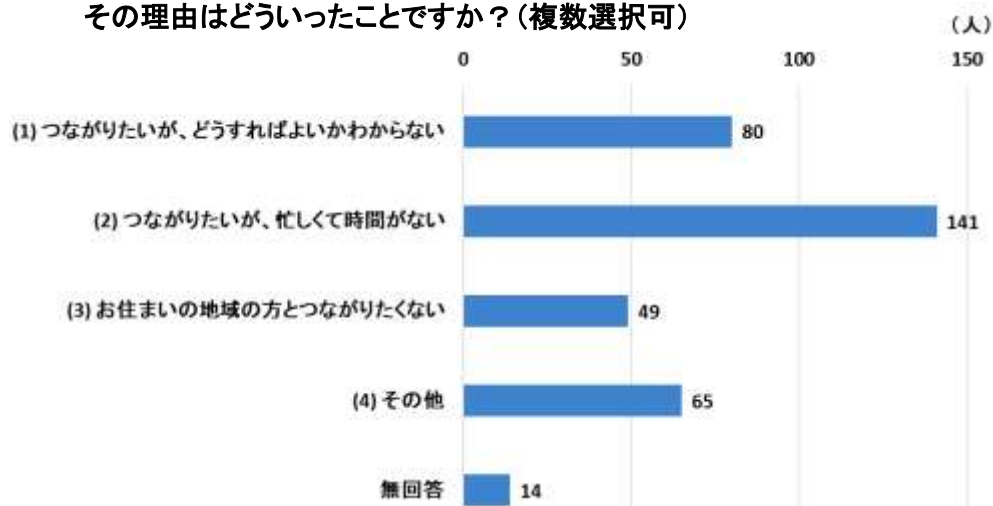
例：日頃のあいさつ、近所付き合いをしている、回覧板を声かけして渡す、町会などの行事に参加



「(1)感じる」「(2)ある程度感じる」が 60.7%であり、「(3)あまり感じない」「(4)感じない」が 37.1%となっています。

【問 12-2】 問 12-1 で「(3)あまり感じない (4)感じない」と回答した方にお聞きします。

その理由はどういったことですか？（複数選択可）



「(2)つながりたいが、忙しくて時間がない」が最も多く 141 件、次いで、「(1)つながりたいが、どうすればよいかわからない」が 80 件となっています。「(3)お住いの地域の方とつながりたくない」の理由としては、人付き合いが苦手、トラブルなどに巻き込まれたくない、煩わしいといったご意見があり、その他としては、マンション住まいなので自治会や町会がない、つながりを持つ機会がない等の回答がありました。

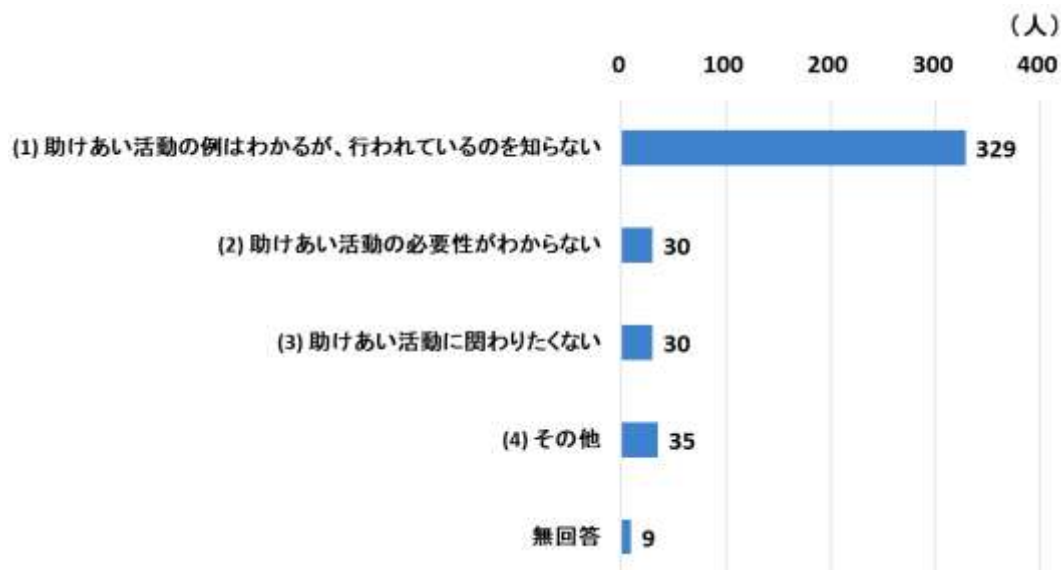
【問 13－1】 あなたの隣近所では助けあい活動が行われていると感じますか？（1つだけ選択）

例：子どもや高齢者などへの声かけや見守り、お手伝いの必要な方の荷物の持ち運び、
買い物のお手伝いなど



「(1)感じる」「(2)ある程度感じる」
が 46.5%となっています。一方で、
「(3)あまり感じない」「(4)感じない」
が 48.3%となっています。

【問 13－2】 問13－1で「(3)あまり感じない (4)感じない」と回答した方にお聞きします。
その理由はどういったことですか？（複数選択可）



「(1)助けあい活動の例はわかるが、行われているのを知らない」が最も多く、329 件となっています。
次いで、「(2)助けあい活動の必要性がわからない」、「(3)助けあい活動に関わりたくない」がともに 30 件となっ
ています。「(3)助けあい活動に関わりたくない」の理由として、他人と接するのが煩わしい、近所の人と関わり
たくない等のご意見がありました。

その他としては、助けあい活動をするきっかけがない、どう関わればいいのかかわからない等のご意見があ
りました。人と人がつながり、地域内でお互いが支えあうまちづくりの重要性について、今後周知に努めて
まいります。

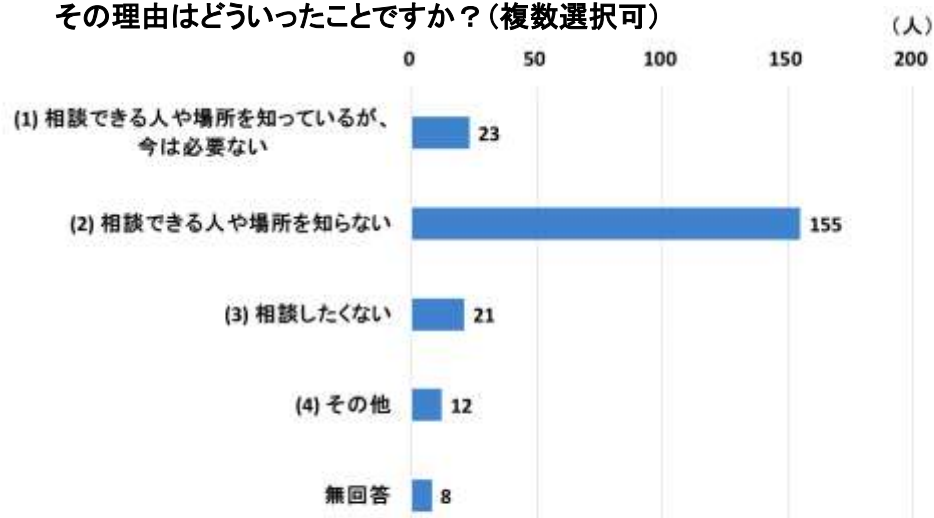
【問 14-1】 あなたは、子育てや家事・介護、仕事のことなど生活の困りごとや悩みがあるとき、相談できる人や場所がありますか？（1つだけ選択）



「(1)ある」「(2)どちらかといえばある」が、半数以上の 72.7%となっています。

「(3)どちらかといえはない」「(4)ない」が 24.3%となっています。

【問 14-2】 問 14-1で「(3)どちらかといえはない (4)ない」と回答した方にお聞きします。
その理由はどういったことですか？（複数選択可）



「(2)相談できる人や場所を知らない」が 155 件と最も多くなっています。

「(1)相談できる人や場所を知っているが、今は必要ない」、「(3)相談したくない」が 20 件程度となっています。

「(3)相談したくない」の理由としては、相談する人に迷惑をかける、プライバシーが守られないと感じるからといったご意見があり、その他としては、自己責任、家族以外に相談することがない等の回答がありました。

【問 15-1】 認知症予防の取組みがあれば参加したいと思いますか？（1つだけ選択）

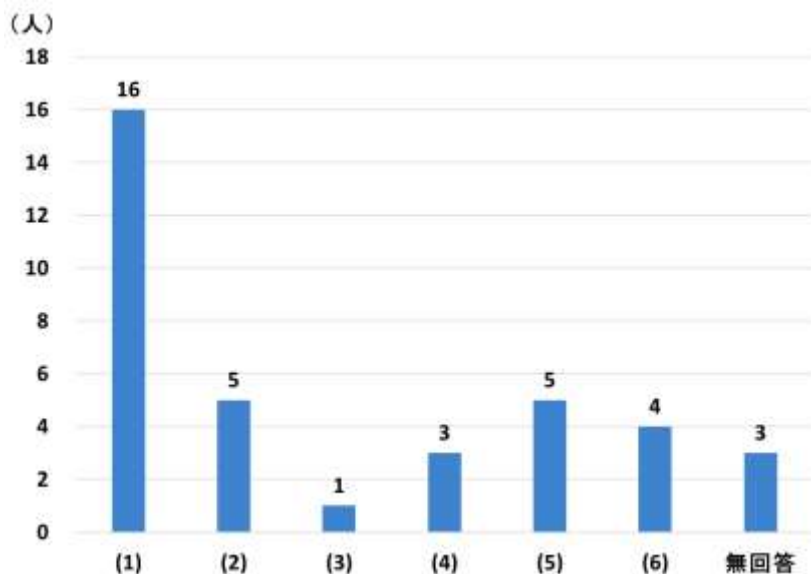


「(1)すでに参加している」、「(2)参加したい」が 35.8%となっています。「(3)興味はあるが、参加できない」が 37.6%、「(4)興味がない」が 21.3%となっています。

【問 15-2】 問 15-1で「(1)すでに参加している」と回答した方にお聞きします。

お住まいの地域で、認知症予防の取組みをどのように進めていきたいと思いますか？

(複数選択可)



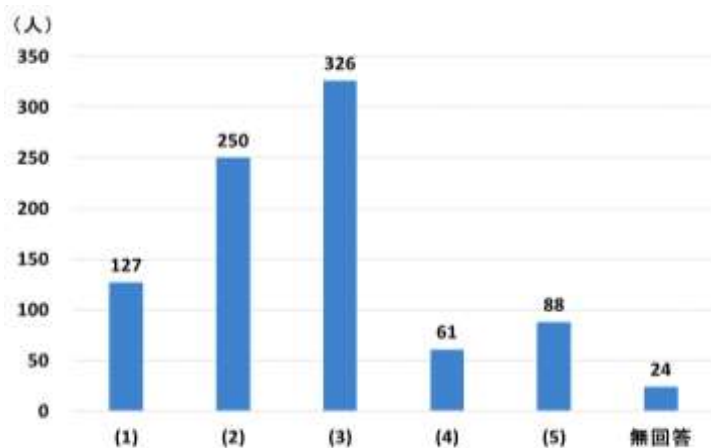
〔回答項目〕

- (1) すでに取組みを広める活動に関わっている
- (2) 今後、住んでいる地域で広めていく予定がある
- (3) 広めていきたいが、やり方が分からない
- (4) 広めていきたいが、時間がない
- (5) 広めていきたいが、担い手になるのが負担
- (6) その他

「(1)すでに取組みを広める活動に関わっている」が 16 人となっています。次いで、「(2)今後、住んでいる地域で広めていく予定がある」「(5)広めていきたいが、担い手になるのが負担」がそれぞれ 5 人となっています。その他としては、福祉関連の仕事に活かしたい、自分の居住地では行いたくない等のご意見がありました。

【問 15-3】 問 15-1で「(2)参加したい (3)興味はあるが参加できない (4)興味がない」と回答した方にお聞きします。

取組みに参加していない理由をお聞かせください。(複数選択可)



〔回答項目〕

- (1) いきいき百歳体操などの活動や日常生活で、認知症予防の取組みをする時間がない
- (2) 興味があるが、参加する場がない(知らない)
- (3) 自身や家族に、認知症(予防)と関わりがなく、今、必要がない
- (4) 認知症は予防できないと思う
- (5) その他

「(3)自身や家族に、認知症(予防)と関わりがなく、今、必要がない」が 326 人と最も多く、次いで、「(2)興味があるが、参加する場がない(知らない)」が 250 人、「(1)いきいき百歳体操などの活動や日常生活で、認知症予防の取組みをする時間がない」が 127 人となっています。その他としては、仕事、家事、お稽古事等で忙しく時間がない、年齢的に必要になった時に参加したい等のご意見がありました。助け合い活動とともに、支援が必要な人を地域とともに支えていけるよう、地域福祉の向上に努めてまいります。

＜生涯学習関連＞

大阪市では、一人一人が生涯にわたって学習する生涯学習を、単に趣味やお稽古事として学習するだけでなく、学んだ知識等をまちづくりに活かし課題を解決していく力になるよう生涯学習施策を進めてきました。

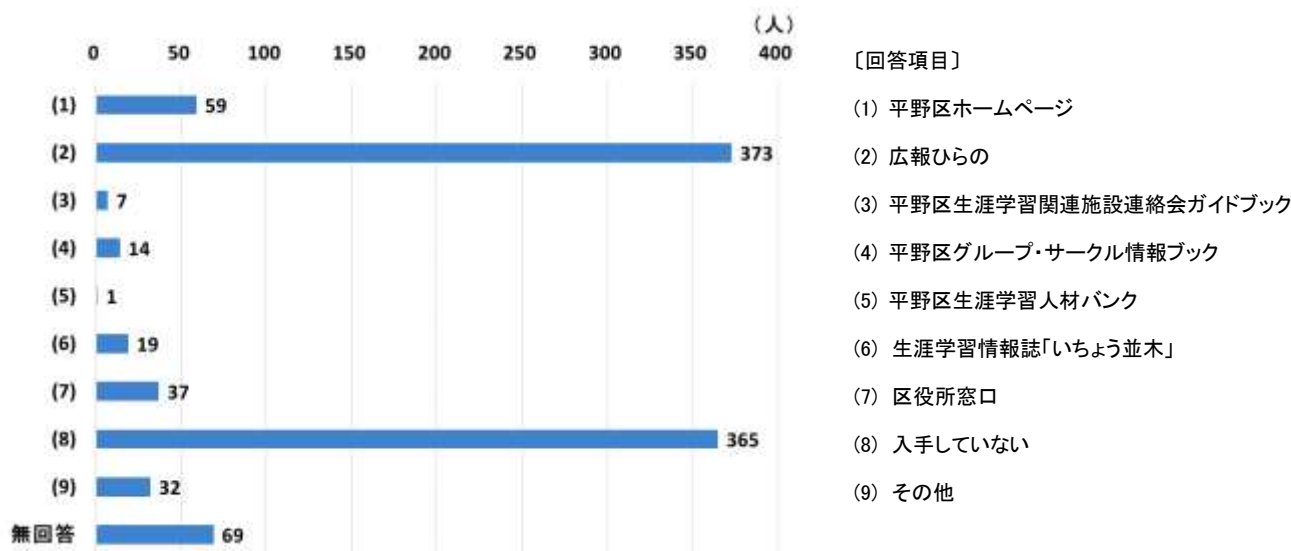
今後、「ひと・まち・まなびをつなぐ生涯学習」を基本理念として、すべての人々に「まなび」を届け、「ひと」と「ひと」、「ひと」と「まち」をつなぐような生涯学習を推進していきたいと考えています。

【問 16】 「生涯学習」についてご存知ですか？（1つだけ選択）



「(1) 言葉の意味も、取組みも知っている」が 23.2%となっており、「(2) 言葉の意味は知っているが、取組みは知らない」が 25.8%、「(3) 聞いたことはある」が 30.6%、「(4) 聞いたことがない」が 17.0%となっています。平野区で行う取組みについて、より多くの方に知っていただけるよう周知してまいります。

【問 17】 「生涯学習」の情報をどこで手に入れていますか？（複数選択可）



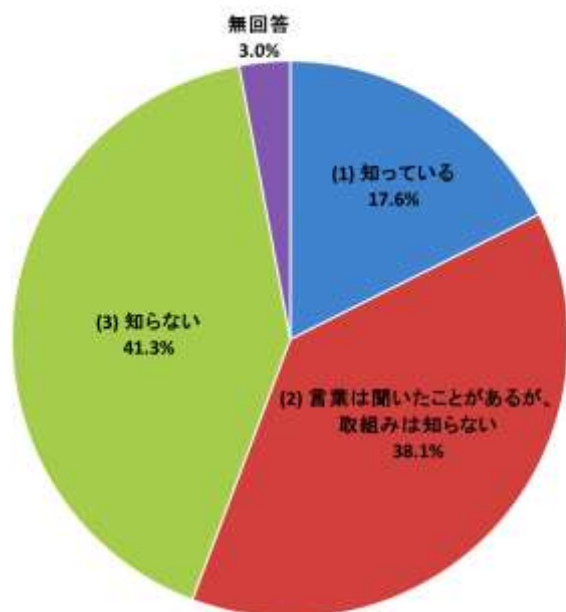
「(2)広報ひらの」が 373 人と最も多くなっている一方で、「(8)入手していない」に 365 人が回答していました。

年齢ごとで比較すると、50 歳代以上の方からは「広報ひらの」等から情報を得ているとの回答が多かったのに対し、40 歳代までの方からは「情報を入手していない」との回答が多く、年代ごとに大きく違いがあることがわかりました。

＜人権啓発関連＞

平野区では、人権啓発事業として、例年区民まつりへのブース出店、人権週間(令和 2 年度:12 月 4 日～12 月 10 日)での街頭啓発と人権フェスティバル(人権啓発イベント)の開催などを行っています。

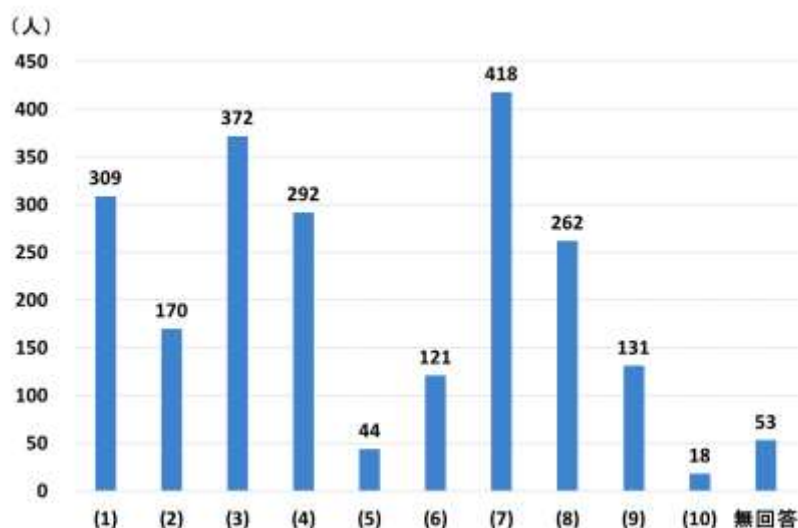
【問 18】 これらの人権啓発の取組みをご存知ですか？(1つだけ選択)



「(1) 知っている」が 17.6%となっており、「(2) 言葉は聞いたことがあるが、取組みは知らない」が 38.1%、「(3) 知らない」が 41.3%となっています。

取組の内容まで、より多くの方に知っていただけるよう、今後も広報に努めてまいります。

【問 19】 今後取り組むべきだと思うテーマは何ですか？(複数選択可)



【回答項目】

- (1) こどもをめぐると人権
- (2) 女性をめぐると人権
- (3) 高齢者をめぐると人権
- (4) 障がいのある方をめぐると人権
- (5) 同和問題
- (6) 外国籍住民をめぐると人権
- (7) いじめ問題
- (8) インターネットと人権
- (9) LGBT などの性的少数者をめぐると人権
- (10) その他

今後取り組むべきだと思うテーマとして、「(7)いじめ問題」と回答した方が 418 人と最も多くなっています。次いで「(3)高齢者をめぐると人権」、「(1)こどもをめぐると人権」、「(4)障がいのある方をめぐると人権」が 290 人以上となっています。「(8)インターネットと人権」も 262 人と多くの回答があり、その他として、環境問題、現在推進している取組みを深めていくべき等のご意見がありました。

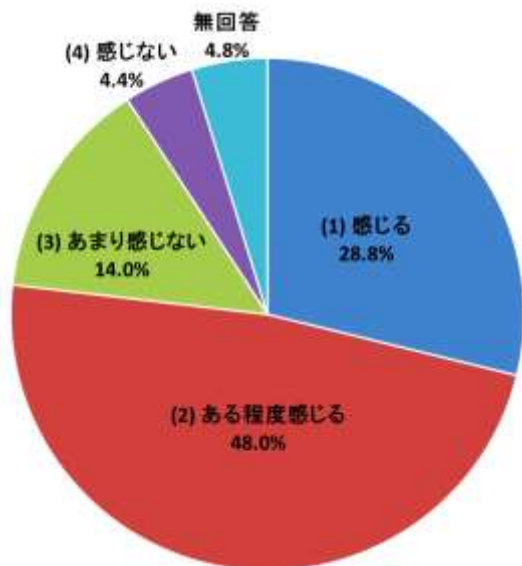
＜情報発信関連＞

区民が主体のまちづくりを区民に最も身近な存在である区役所として支援するため、地域に根ざし親しまれる区役所となるよう、情報発信など、さまざまな取り組みを行っています。

広報紙「広報ひらの」は令和2年5月より区内すべてのご家庭・事業所に1部ずつお届けしています。

【問 20】 広報紙「広報ひらの」は、子育て、防災・防犯、健康、福祉ごとに情報を分類して色分けをし、わかりやすい文章や写真を用いるなど、様々な工夫を凝らしています。見やすい紙面だと感じますか？

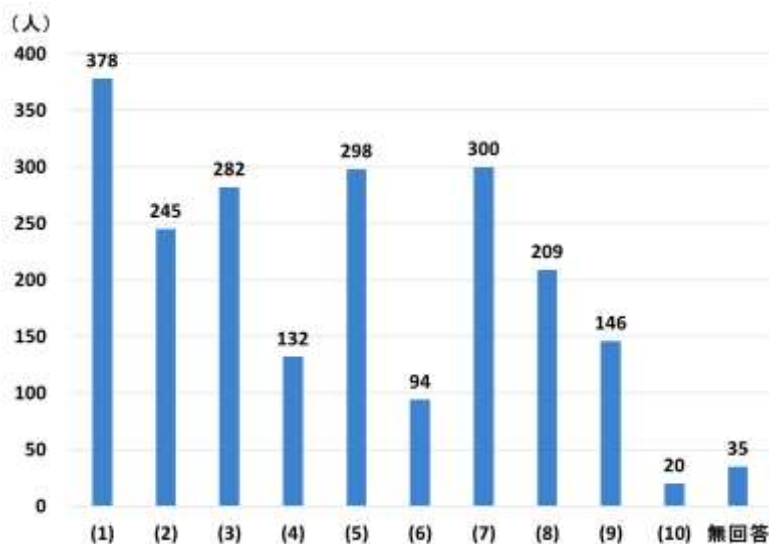
(1つだけ選択)



「(1) 感じる」が28.8%、「(2) ある程度感じる」が半数近くの48%、「(3) あまり感じない」が14%、「(4) 感じない」が4.4%となっています。

今年度より全戸配布となり、今まで以上に多くの方に見ていただいていることから、より見やすい紙面となるよう、努めてまいります。

【問 21】 広報紙を毎月発行していますが、どのような項目をご覧いただいていますか？（複数選択可）

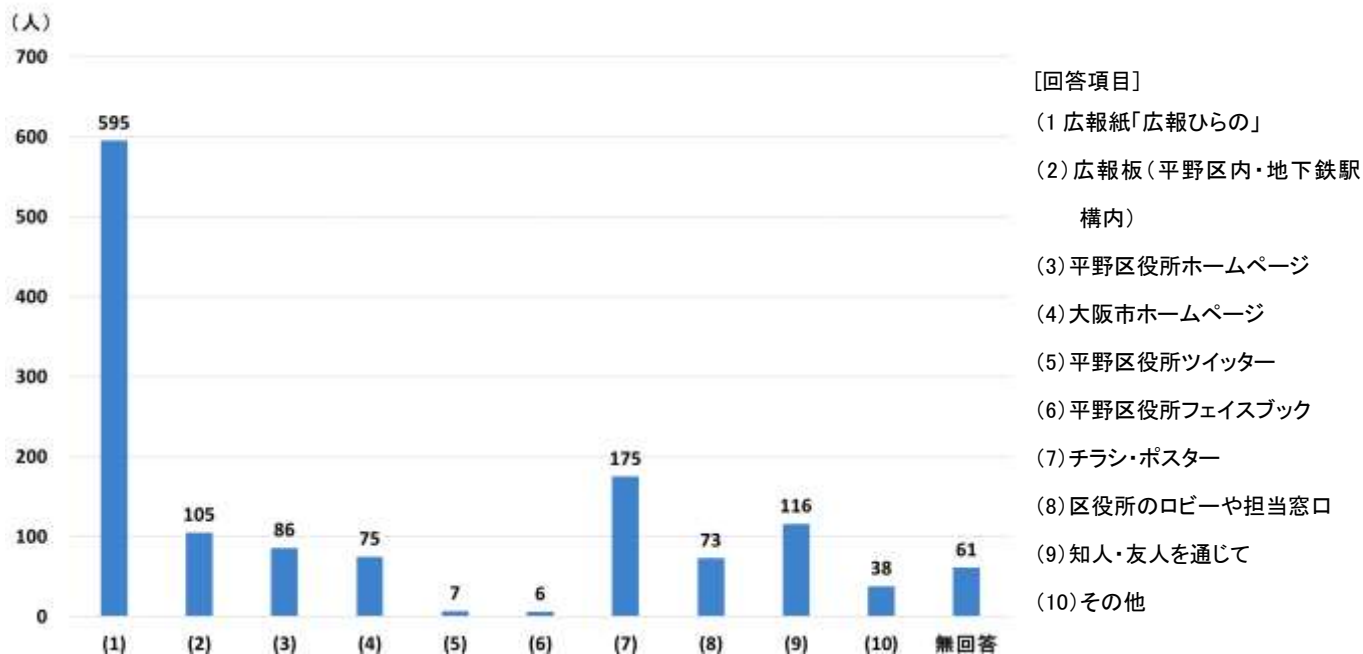


〔回答項目〕

- (1) 講座や催しなどイベント
- (2) 制度等に関するお知らせ
- (3) 防災や防犯
- (4) 教育や子育て
- (5) まちづくりや地域の情報
- (6) 法律相談など各種相談
- (7) 各種検診のお知らせ
- (8) 大阪市民のみなさんへ
- (9) 広報紙を見ていない
- (10) その他

昨年に引き続き、「(1) 講座や催しなどイベント」が378件と最も高くなっており、次いで200件以上の回答項目は、「(7) 各種検診のお知らせ」(300件)、「(5) まちづくりや地域の情報」(298件)、「(3) 防災や防犯」(282件)、「(2) 制度等に関するお知らせ」(245件)、「(8) 大阪市民のみなさんへ」(209件)となっています。

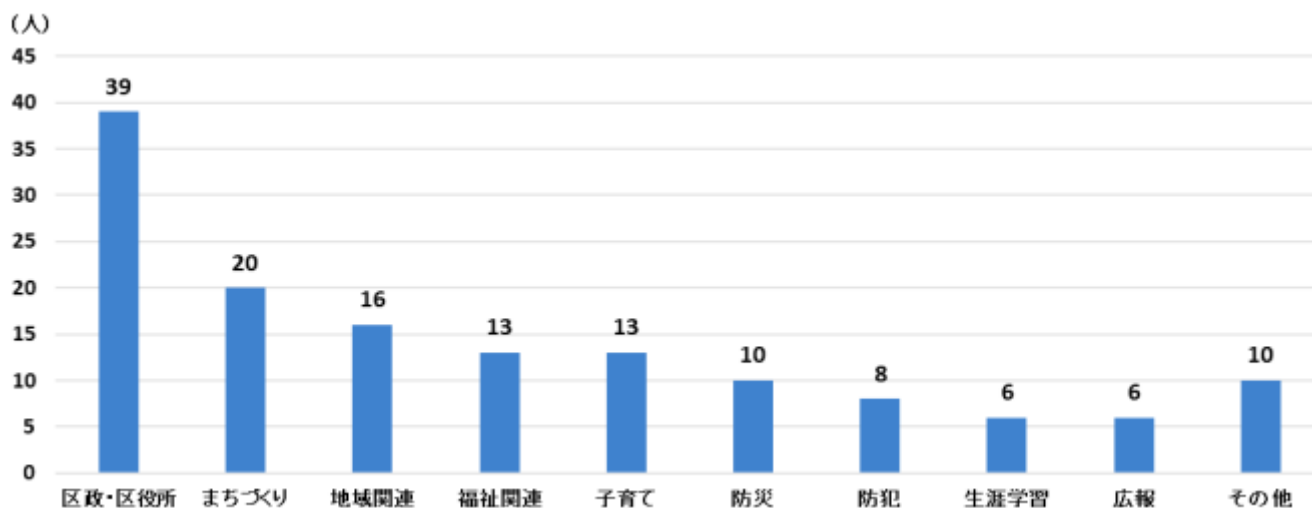
【問 22】 区政(市政)に関する情報はどちらから得ていますか？(3 つまで選択可)



「(1)広報紙「広報ひらの」が 595 件と最も多く、次いで「(7)チラシ・ポスター」が 175 件、「(9)知人・友人を通じて」が 116 件となっています。その他としては、回覧板、職場、テレビ、ネットニュース、ラジオ、一般の新聞というご意見がありました。

今年度より広報紙「広報ひらの」を全戸配布したことにより、手に取っていただける機会が増えたと考えられます。「大阪市・平野区 HP」の回答は若い世代の方から多くあり、今後様々な SNS も活用しての広報にも努めてまいります。

【問 23】 区政に関するご意見を自由にお書きください。



区政・区役所関連が 39 件と最も多く、次いでまちづくり(20 件)、地域関連(16 件)、福祉関連(13 件)、子育て(13 件)となっています。昨年度は防災へのご意見が多くありましたが、今年度は平野区が現在行っている事業や区政、大都市制度へのご意見が多くありました。

ご意見の内容(要旨)

〔区政・区役所〕

- ・ 区政の施策に対しての予算や、施行後の経過なども明確にしてほしい。
- ・ この先の平野区の発展を考えて区政に取り組んでほしい。
- ・ 平野区が基礎自治体だったという視点に立ち、適切な運営とサービス提供が出来るように、これからの区政を考えてほしい。
- ・ 区民がホームページやネット等で意見できる場所や機会を増やしてほしい。その意見が反映された結果も知りたい。住民参加区となっていけたらいいと思う。
- ・ 区の面積が広く、人口の多い平野ですが、住民と一体感をもった区政に期待しています。
- ・ 掲げられている素晴らしいプロジェクト、ビジョンを1つずつ実現してほしい。
- ・ お年寄りや子どもだけでなく、それ以外の区民のことも考えた平野区に住んでいるメリットがほしい。
- ・ 区政が何をしているのかわからない。区政をわかりやすく、区民の立場にたち、情報提供をしてほしい。
- ・ 以前よりも、各種申請に迅速丁寧な対応になり良かった。
- ・ 区役所、出張所の閉庁時間を延ばしてほしい。出張所を増やしてほしいが、そこでできることも増やしてほしい。
- ・ 区役所での待ち時間が長い。区役所内の駐車料金が高すぎる。区役所の駐輪場を拡張してほしい。
- ・ 区役所や、関連施設を楽しめる活気ある場所にして、区民が利用しやすくしてほしい。
- ・ 区役所に行かなければわからないことが多すぎる。
- ・ 区役所を訪れた際、対応が悪くて相談しづらい時がある。電話でも不愛想な人がいる。職員によって差があり、気持ちの良い対応の時もある。
- ・ 区役所の職員は全般的に親切で、好意的に感じます。
- ・ 法関係だけでなく、何でも相談できる窓口がほしい。
- ・ 国民健康保険ではなくても、区役所で健康診断が受けられるようにしてほしい。安いし、近くで受診できて便利だから。
- ・ 大阪市が継続することになったが、今後、平野区がどのように維持、発展を目指していくのかを公表してほしい。
- ・ 前回も同じようなアンケートをしたような気がする。いろいろな方法、たくさんの方にしたほうがいいと思う。
- ・ オンラインでの回答方法がわからなかった。
- ・ 無作為にするのではなく、役所に来訪している方の待ち時間等を利用してアンケートを行えばよいと思う。
- ・ アンケートにあった資料の字が小さい。
- ・ アンケートを通して、いろいろな取組を知った。もっと積極的に知る機会をもち、かかわっていけたらと思う。
- ・ 大阪市廃止に関しては反対でしたが、大阪市が繁栄できる工夫をすることが、これからの大きな課題と思う。新しい区割りについては、その長所、短所を大阪市民にしっかりと説明してもらい、実施してほしい。
- ・ 都構想が否定されたのに、それに準ずる総合区案が再び議論されている。今の政党は利害関係ばかり考えて、一般市民のことが、なおざりにされているように思う。
- ・ 大阪維新の会について、投入公金、住民投票その他に平野区民が反対した人の意見をもっと取りあげてほしい。
- ・ 大阪都構想は否決されましたが、無駄な事は削減し、必要な事はしっかりとしてほしい。
- ・ 携帯を使いこなせない高齢者に、何でも携帯でおこなうことは、すべてに良いとは言えない。

〔まちづくり〕

- ・ これから何百年も安心して住み続けられるまちにしてほしい。
- ・ 地域の活性化のためにも、他の地域から来たくなるようなまちづくりを長期的に考えてほしい。
- ・ 犯罪抑止のために、学校・幼稚園や住宅街付近の街灯を増やす見直しをしてほしい。
- ・ 住みやすいまちとして、次世代の人たちを呼び込むことができるようなまちづくりの必要性に迫られていると思う。
- ・ より多くの人がいきいきと暮らせる環境を整えてほしい。
- ・ もっと自由に海外からの移住者が増えるような楽しいまちづくりをしてほしい。
- ・ 比較的暮らしやすい場所だと思う。地域の平穏や安全に貢献できるように生活していきたい。
- ・ 町に清潔感がなく、犯罪の多いと思う。

- ・ 平野区は古くもあり新しくもある、とても面白いまちだと思う。住宅地(暮らすこと)に特色を持たせていくのが大事だと思う。子育てしやすく、高齢者にも優しいまち、職住近接で便利で、住む人を増やしていくよう特色を持たせてほしい。
- ・ 高齢者でも手軽に行ける平野区内の近場に、イベント施設を作してほしい。
- ・ 平野区全体としては、もう少し文化的教育施設があってもよいと思う。空き地を緑地化して、図書館文化会館等を建設し、こども・高齢者が共にふれあい、色々学習できるようになれば、住みよい平野としてこれからのまちづくりの先例となると思う。
- ・ これ以上、団地はいらないと思う。
- ・ 長原駅東側の空き地を有効利用してほしい。図書館などができてくれたら嬉しい。運動施設や、高齢者やこどもでも遊べる場所があれば、人が外に出て防犯にもなると思う。
- ・ ホールなどの公共施設も市民が使いやすいようにしてほしい。
- ・ 公園自体の数が少ないように感じる。こどもが外で安心して遊べる空間を用意してほしい。
- ・ 小さいこどもも遊べる遊具のある公園、ボール遊びができる広場が必要。道路でボール遊びをする子どもを見かけることが増えてきた。

〔地域関係〕

- ・ 個人情報保護が立ちふさがり、地域での交流がづらい。
- ・ 住民と役所のパイプ役となる町会の方の名簿等が配布されていないため、近隣には高齢者が多く、困ることが多い。
- ・ 地域でパトロールや見守りをはじめ、毎日ボランティアで公園での掃除等に感謝している。
- ・ 軒数が少なく、お顔を見ることが少ないが、古くから住んでいる人たちばかりなので、親しみがある。
- ・ 地域活動協議会を充実させてほしい。
- ・ 区民まつり以外にもイベントや催しがあれば、昔から住んでいる人たちとの交流ができると思う。
- ・ 夏祭りのだんじりの音がうるさくて、寝ている赤ちゃんが起きないか心配になることがあった。
- ・ 区からも地域住民に町会の活動について周知してもらえるように働きかけをしてほしい。町会費が街灯などに使われていること、成人式や避難訓練も町会役員が協力していること、役員のなり手がいない現状等、広報ひらのだけでは周知の効果があまりないように感じる。
- ・ 町内会の必要性を感じていないのに高い町会費が取られる。コロナ禍なので、回覧板も止めてほしい。町内会の会計報告に研修会費などが計上されているが、レポート提出がなく内容が全くわからない。集会も無いような町内会は意味がないと思う。
- ・ 連合町会について、加入率や周知度を考えると、その在り方を検証すべきと思う。活動が一部の人のみに留まり拡がりを見せていない。連合に加入していない自治会や、そもそも何の自治会にも加入していない個人との連携ができる制度や窓口を設けるなどの取組が必要と思う。web 自治会(仮称)を設置し個人で登録し、生活に必要な情報をスマホで配信するのも一考かと思う。その他の課題についても想像力と発想力を駆使し、より良い方向へ向かってほしい。
- ・ 防災、防犯、高齢者福祉、子育て支援、青少年の健全育成など、地域活動協議会を核とした住民主体のまちづくりが必要だと思う。地域住民たちが地域の活動を主体的にやってみたいと思う方向へ、人を導ける地域のリーダーが育成できるよう、各協議会の代表者などを対象にリーダーシップ等の講座や研修をしてほしい。

〔福祉関係〕

- ・ 高齢者・1人暮らしの方が住みやすい社会の取組・環境づくりをしてほしい。高齢者の家を訪ねるなど福祉の制度をフルに活用してほしい。一人暮らしの高齢者、体が不自由な方や難病者への支援がほしい。
- ・ 平野区は高齢者や低所得者層が多く、福祉のサポートが大切だと思うので、フォローを今以上に頑張してほしい。
- ・ 高齢者世代のコミュニティー場を充実させてほしい。
- ・ 余裕のある(時間、生活)元気な高齢者に、もっと困っている、孤立している高齢者の力になれる場が提供されれば、平野区の活性化にもっとつながると思う。それがこどもたちにも伝わっていき、温かみのある地域に育っていくと思う。

- ・ 支援が必要な人は、なかなか自分から行動することが難しいと思う。孤立しないように地域ぐるみで支えていければいいが、どこまで介入できて、どう関わればいいのかわからないので、区政で関わってもらい、支えていける仕組みができればいいなと思う。
- ・ 片親家庭、学生の子ども、障がい者にもっと目を向けて支援をしてほしい。見た目だけではわからない障がい者や、どこに助けを求めればいいのかわからない人たちもいる。平野区だけではなく、全国的にもっと優しくしてほしい。本当に困っている人や、支援が必要な人の声を聞いてほしい。
- ・ 障がい者の生活に関するフォローや施設の情報を知りたい。
- ・ 世間的には年配の方は年金もたくさんあり、悠々自適に暮らしているように思われているが、そんな人ばかりではないということも知ってほしい。
- ・ 高齢者世帯なので、掃除、買い物の助けがほしい。
- ・ 高齢者が多くなり、孤独死が増えてくることが気になる。一人住まいの老人が死亡した場合、できるだけ早く発見できるシステムを実施してほしい。
- ・ 生活保護の取組、保護者の生活態度を見直してほしい。ひとり親世帯より、裕福な生活をしているように思うので、もう少し家庭訪問等をして見直してほしい。不正受給はしっかり取り締まってほしい。
- ・ 生活保護受給者に保護費を減らすだけで解決しようとするのは違うと思う。
- ・ 生活保護や手当でばかりに税金を使うのはやめてほしい。真面目に働いて税金をたくさん納めている人（共働き夫婦など）が、何の手当でももらえない不公平な世の中にしないでほしい。
- ・ 指定感染症の医療費助成では国籍要件を設けていないため、基本的には外国人にも適用されている状態を廃止してほしい。保険料を納付していない人にまで、無償で医療を受けさせないでほしい。
- ・ 他人に迷惑をかけない“終活”の勉強会・催しの企画をしてほしい。
- ・ 失業保険は仕事を探す前提でしか受け取ることができないのはおかしいと思う。理由によっては早く出してほしい。
- ・ 年金が少なすぎる。体調が悪くなった時、どうしたらいいのか。
- ・ 大人が安価で気軽に楽しめるスポーツチームなども企画してほしい。

〔子育て〕

- ・ 子育て世代のコミュニティーの場を充実させてほしい。
- ・ こどもに対するネグレクトを早く発見し、保護してほしい。
- ・ 平野区はこどもが多く人口も多いので、特色ある教育特区にし、公立のレベルをあげてほしい。
- ・ こども手当では所得に関係なく、税金を納めている人すべてに平等にもらう権利がある。弱い者だけ守ろうとするのはやめてほしい。
- ・ こどもの貧困が7人に1人と聞いて、信じがたい多さに衝撃を受けているが、コロナの影響で更に深刻な事態に陥っていると思う。行政は弱い立場の人に重点的に寄り添って施策を推進して、深刻化する「こどもの貧困」問題を早期に対応してほしい。
- ・ 幼少期よりマナーやモラルをしっかりと教えていく必要があると思う。学校で十分時間を取って教育していくことにより、平野の将来も変化すると思う。知識は人生を決して邪魔しないし、未来を悲観することもたちをなくす方が区の発展につながると思う。
- ・ コロナで職も失い、国からの支援だけでは不足している。母子家庭に十分な支援をしてほしい。
- ・ こどもが小学生になるが、今後、合併などがあるのか少し心配。
- ・ 勉強も大事だが、コミュニケーション能力を高める事も大事だと思う。ゲームばかりしてコミュニケーションのとれないこどもが増えていると感じる。
- ・ 基礎学力、自主学習力、基本的な生活習慣改善への取組、社会的な規範意識を育てるなど、これからを担うこどもの教育に力を入れてほしい。授業参観のあとの懇談会にほとんどの親が参加しないことにも、非常に問題があると思う。

〔防災・防犯〕

- ・ 大雨による大和川の土手の決壊が心配。土手（川沿いの道路）を盛り土で上げてほしい。
 - ・ 大雨の時の放送等は、雨の音で何を言っているのか、全然聞き取れません。広報車も時々止まって流してくれないと、走りながらだと聞き取るのは困難。
 - ・ 防災無線の音が小さい。非常時のだから、今の3倍ぐらい大きくしてほしい。
 - ・ 台風や地震で家に居られなくなっても平野区の人口では避難場所には収容できるとは思えない。病気や障がいを持っている人は急な避難もできない。心配ではあるもののどうすればいいのか、わかりません。
 - ・ ペット同伴避難の実現化をしてほしい。
 - ・ 災害対策に、地域で取り組んでいるのを聞いたことがない。
 - ・ 地域の防災訓練に参加したことがある。
 - ・ 自助を全面に出すのは、あまり好きではない。
 - ・ 喜連地区にある、青空の防災公園は何の役に立つのか。金網が張ってあるだけでは、防災公園と言えないと思う。小さい集会所でもある方がよい。
-
- ・ 大阪市の中でも、平野区は犯罪率が高い方だと思うので、防犯強化にさらに取り組んでほしい。
 - ・ 不審者が多いので、パトロールの強化の強化など、治安の向上に尽力してほしい。
 - ・ 防犯パトロールや小学校等の見守り活動が、東住吉区地域に比べて少ない。
 - ・ こどもたちの下校時、大人が見守りで各所に立っておられるのを見ると、感謝の気持ちになります。
 - ・ 犯罪抑止、検挙のために防犯カメラの設置推進が必要だと思う。
 - ・ 自転車の傘は危なく、すれ違う時、怖い。スマホをしながらの歩行や自転車運転は、取り締まってほしい。
 - ・ 自転車のスピード取り締まりをしてほしい。
 - ・ 自転車や深夜のバイクの取り締まり強化はずっと前から言われているが、全く改善していない。高齢者のヘルメット着用を推進されているが、見たことが無い。本当に取組をしているのか疑問。

〔広報〕

- ・ 広報が5月からポストに入るようになって良かった。
- ・ 広報ひらのは文字が小さくて見づらい。ページをもっと増やすか、絵(写真)をもう少し大きくしてほしい。
- ・ 新聞形式でなく冊子になれば、保管がしやすく思い立った時に、読み返しができると思う。
- ・ 市政や区政の広報が大阪維新のプロパガンダツールになってしまい、本来の役目がおろそかになっている。
- ・ 広報ひらので得た情報で、映画を見たり、地域のイベントに参加したりしている。
- ・ 高齢者、障がい者に対するボランティアの募集など、広報に大きく載せて欲しい。情報が少なく、目につくことがない。
- ・ 広報紙をもらえるところが少なすぎる。病院、医院、スーパー、飲食店等、人の集うところに置いてあれば、もっと多くの人たちの手元に届けられると思う。
- ・ 広報紙をわかりやすく配達してほしい。全戸配布になったが、催促しなければ配布されなかった。改善をお願いし届くようになったが、苦情を言っていない世帯には依然として今も配布されず、等しく全区民への情報提供と周知ができていないと思う。実態調査と是正をしてほしい。

〔その他〕

- ・ 新型コロナウイルスに不安を抱える毎日。新型コロナウイルス対策をもっと徹底すべきだと思う。
- ・ 新型コロナウイルス関連の平野区としての取組がどうなっているのかわからない。もっと広報紙などで区長の施策や考え方、情報発信をしてほしい。
- ・ コロナ対策ばかりで、高齢者、子育て世代の社会から孤立させられている方の気持ちへの取組みがない気がする。高齢者の認知機能の低下、虐待、ネグレクト、自殺率が上がるだけだと思う。コロナより、人が人のことを思いやれないことが一番恐ろしい。

- ・ 平野区内でのコロナ検査や、診察ができるクリニックや病院を増やして、積極的に情報発信をするべきだと思う。コロナに感染した場合、どうしてよいかわからず不安。
- ・ 猫の TNR 活動素晴らしいと思うが、ポスター等一部のみでしか見かけないのが残念。野良猫への餌やりは、やめてほしい。
- ・ ペットの犬の糞害、タバコの吸い殻、空き缶やマスク等ゴミの路上ポイ捨て、見ていないところで捨てられている。どれも環境汚染につながるので、環境美化を役所で各方面に働きかけてほしい。生ごみのカラス対策も徹底してほしい。
- ・ ある一定の地域は草木の整備がされているのに、別の地域は全く整備されていない。草木が伸びると景観も悪く、こどものけがにもつながり公園で遊べないと思う。
- ・ 歩道にある大きめの木がすごく邪魔で、通行するとき車が来ているのが見えない。危険だと感じる。
- ・ 道路をもう少し整備して、自転車を安全に乗れるようにしてほしい。
- ・ 歩道の傾斜がきつく、高齢者、障がい者には辛い。また、細い道路も歩きにくい。
- ・ JR加美駅、新加美駅の各駅前にロータリーを設けてほしい。また、タクシー乗り場も設けてほしい。
- ・ 赤バス等の復活、交通の便をもっとよくしてほしい。平野区にもっと駅がほしい。
- ・ 区内の南北の交通があまり上手くいっていないように思う。もう少し便利にしてほしい。バスの便数が少ない。
- ・ 無料タクシーや低価格で利用できるタクシーや買い物ツアーバスなど、高齢者向けの移動手段を充実させてほしい。
- ・ 公園のグラウンドの整備をしてほしい。
- ・ これからの社会に必要なデジタル知識を、高齢者向けにやさしく指導していただける“デジタル教室”（パソコン、スマホ活用等）のような場を設けてほしい。
- ・ 人権啓発の取組は自分一人ではなく、人からの教え等を考慮してよい方へ進めていくべきだと思う。